

文部科学省 大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業
「GASSHUKU（合宿）とDOJO（道場）によるグローバルスタートアップ人材育成
「日韓みらいファクトリーフォーラム2025 in 韓国・全州」募集要項

1 概要

筑波大学は、令和6年11月に文部科学省より大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業「GASSHUKU（合宿）とDOJO（道場）によるグローバルスタートアップ人材育成（以下、「SI事業」とします）」に採択され、多様な取り組みを進めています。GASSHUKU（合宿）とは、国内で実施する多文化共修プログラム、DOJO（道場）とは海外で実施する多文化共修プログラムのことを示します。

この授業では韓国・全州市を舞台に、現地の大学生と多文化共修を行います。参加学生は4泊5日間の韓国での研修プログラム（別途、事前・事後研修を含む）に参加し、日本と韓国の学生が混合でチームを組み、両国に共通、または地球規模の課題に対し、互いの国の知見・資源等を活用して解決するソーシャルビジネスのアイデアを構想します。

本プログラムを通じて「課題発見および解決能力、異文化コミュニケーション能力、チーム協業能力」を備えたグローバル人材に成長し、学生の皆さんのキャリアデザインの道標になることを願っています。社会的課題にアプローチし、ソーシャルインパクトの創出を図る、新しい価値の創造体験にご関心のある参加学生を募集しますので、ぜひご検討ください。

【プログラムの詳細と申込はウェブサイトをご参照ください。】

<https://miraefactory.jp/2025jeonju>

申込期間：令和7年10月7日(火) 09:00～10月20日(月) 23:59

2 参加に関するご案内

日 程：令和8年1月27日、2月3日、2月21日～2月27日、3月6日 ※詳細は別紙参照

場 所：韓国 全州市内ほか（全北大学、韓屋村など）

宿 泊：全北大学内のゲストハウス

人 数：20人（筑波大学から派遣する学生）※韓国現地でも20名の学生が参加します。

対 象：・本学の学類生及び博士前期課程の学生 ※留学生歓迎・国籍不問

- ・日韓交流や国際交流など多文化共生社会の実現に関心のあること
- ・今後グローバルなマインドを持って活躍する目標があること
- ・地方創生、ソーシャルビジネスに関心があること
- ・韓国語または英語による日常会話が可能なこと（流暢でなくても申請可能）。

参加費：8万円程度 ※「はばたけ！筑大生」は授業担当教員で一括申請する予定です

※本学の海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）の多文化共修活動参加支援（東アジア6万円）を申請する予定ですが、必ず採択されるとは限らないものであるため、不足分は学生個人負担となります。全額個人負担時の目安額は、航空券、宿泊費、食費、海外旅行保険（加入義務）その他滞在費をあわせて8万円程度を見込んでいます。協力機関と連携し、皆さんの負担を少しでも減らすことができるように調整を進めています。

3 プログラムについて

<授業名>

【8331183】多文化共修による課題解決実習（海外）B（1単位/秋学期随時）

「日韓みらいファクトリーフォーラム 2025 in 韓国・全州」

授業担当教員：李 健實（筑波大学 T-ACT 推進室 助教）

<授業概要>

昨今、日本と韓国は少子高齢化や首都集中、またオーバーツーリズムといった共通の課題に直面しています。地方創生や地方都市の魅力を再発見し観光客を誘致、地域住民と共生できる環境を整えることは、少子高齢化や首都集中などの課題を解決する方策の一つとして考えられます。韓国の京都と言われる全州市を舞台に、両国の地方都市間交流、地方創生などの観点から日韓の学生が共にフィールドワークを行い、課題発見、解決策の模索・検討、解決案の提示を通じた多文化共修を提供します。

<履修登録>

この授業の履修は先着順です。参加決定者に対して 10 月末ごろを目処に通知します。「はばたけ！筑大生」への申請都合上、申込書が提出された時点で、参加が決定した場合、原則として履修するものとみなします。参加決定者の履修登録は授業担当教員が行うので、皆さんが登録する必要はありませんが、何か相談されたいことがありましたらご連絡ください。

<単位及び修了認定について>

この授業では単位の認定に加え、全日程に参加し、所定課程を修めたと認める者には、JV-Campus を通じてデジタル・オープンバッジ（ゴールド）を発行します。デジタル・オープンバッジの有効活用方法については下記サイトを参照ください。

<https://social-impact.projects.tsukuba.ac.jp/global-start-uppers/jp/>

4 その他

この授業では、記録及び広報のため、活動の様子を写真及び動画の撮影を行いますので、予めご承知をお願いします。

<この件に関するお問い合わせ先>

筑波大学 T-ACT 推進室（李 健實）

TEL：029-853-2222

E-mail：k-kyoshu.t-act@u.tsukuba.ac.jp

別紙

日程	内容
令和8年1月27日（火） 7限（18:15-19:30） @筑波大学（対面）	＜オリエンテーション＞ 渡航に関する諸注意など
令和8年2月3日（金） 7限（18:15-19:30） @筑波大学（オンライン）	＜事前研修＞ 多文化共修プログラムに参加する上で必要な異文化コミュニケーションの理論と導入を概観する
令和8年2月21日（土） 14:00 現地集合 @仁川国際空港	＜対面研修＞ 移動（仁川国際空港→全州市）※大学でバスを借ります 参加登録、宿舎入居
令和8年2月22日（日） 10:00-18:00 @全州市内	＜対面研修＞ チーム作り、韓国文化体験（国立無形文化院） フィールドワーク（全州市内：韓屋村など）
令和8年2月23日（月） 10:00-18:00 @全州市内	＜対面研修＞ 特別講演（全北大学、韓国側行政機関）※予定 チーム活動（PBL）
令和8年2月24日（火） 10:00-18:00 @全州市内	＜対面研修＞ 全北大学キャンパスツアー、特別講演（日本側行政機関）※予定 フィールドワーク（全州市内：韓屋村など）
令和8年2月25日（水） 10:00-18:00 @全州市内	＜対面研修＞ 特別講演（民間企業）※予定 チーム活動（PBL）・最終発表に向けた準備
令和8年2月26日（木） 10:00-18:00 @全州市内	＜対面研修＞ 最終発表会、全体会食
令和8年2月27日（金） 14:00 解散 @仁川国際空港	＜対面研修＞ 移動（全州市→仁川国際空港）※大学でバスを借ります
令和8年3月6日（金） 7限（18:15-19:30） @筑波大学（オンライン）	＜事後研修＞ プログラム全体の振り返りを個人そしてチームメンバー間において省察するとともに今後のキャリアデザインを展望する